

四日市港管理組合議会ニューズ

Yokkaichi Port Authority Assembly

第63号（令和4年1月発行）

令和3年は、7月に第2回定例会が開催され、一般質問で各議員が下記のとおり管理組合執行部の見解を質しました。

主な質問・答弁要旨

荻須智之議員



- 主な質問項目
- ・テロ対策について
 - ・ヒアリ対策について
 - ・石原、磯津、楠地区の展望について
 - ・プレジャーボートについて

- 四日市港ではヒアリ対策にどのように取り組んでいるのか。また、四日市港でヒアリが確認された場合は、どのように対応するのか。
- ヒアリ対策については、環境省が、国土交通省をはじめ、国の機関及び関係自治体等と協力して防除を行うことになっている。四日市港では、令和元年11月に環境省によるヒアリの生息調査を行った結果、霞ヶ浦北埠頭ターミナル内で約20個体のヒアリが発見されたことから、直ちに当該アリの殺処分し、周辺にベイト剤を設置するとともに、環境省指導の下、四日市港湾事務所、三重県及びターミナル事業者と連携して、ヒアリが確認された場所及びその周辺の環境省が指定した場所に、ヒアリ発見用の粘着トラップ及び駆除用のベイト剤も設置した。
- 富双地区のプレジャーボート収容施設計画については事業化の検討が進められたことがあるが、中止となった経緯がある。今後、この計画を見直す予定はあるか。また、見直す予定がある場合に、富洲原運河は対象となるのか。
- 富双地区のプレジャーボートの収容施設計画については、次期港湾計画の改訂時等に、計画の見直しが必要であると認識している。富洲原運河については、港の奥に位置し、穏やかな水域であり、過去から漁船やプレジャーボート等の小型船舶が係留している。現在は放置艇対策において、富洲原運河沿いの物揚場等、既存施設を暫定的に活用しているところである。

長田隆尚議員



- 主な質問項目
- ・四日市港の港勢について
 - ・四日市地区の賑わいの創出について
 - ・ポートビルを拠点とした交流機会の創出について

- 四日市地区に設置されている案内板のモデルコースと、「四日市旧港まちあるきMAP」に示されている「ぐるっと近鉄1周コース」と「ふらっとJR1周コース」は、ばらばらで整合性がない。まちあるきイベントを開催するのであれば、案内板の表示に整合性を持たせ、設置場所も再検討する必要があると思うがどうか。
- 案内板の「みなとまち歩きマップ」には、基本ルートのみを表示しているが、「四日市旧港まちあるきMAP」には基本ルートが表示されていないことは、御指摘のとおりである。その部分について整合性を図り、基本ルートを表示することで対応したい。
- JR四日市駅には、指定管理として「レンタサイクルポートJR」があり、「こにゅうどうレンタサイクル」を街中で見かけるが、このレンタルサイクルを活用するためにも案内板に自転車を通れるようなルートも掲示することで、「四日市旧港まちあるきMAP」との整合性を持たせる必要があると思うがどうか。
- 案内板の「みなとまち歩きマップ」については、変化する多様なニーズに応じて、自転車ルートを含む様々なルートの追加等に随時対応することはなじみにくいと考える。そのため、自転車ルートの掲載については紙ベースの「四日市旧港まちあるきMAP」で対応していきたいと考えており、自転車でも楽しみたいというニーズも反映して作成している。

詳細な質問答弁等については、当組合議会ホームページ会議録をご覧ください。